

令和6年第10回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和6年9月13日（金）

2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午前9時30分

4. 閉 会 午前11時00分

5. 出席者 中野留美 高戸崇 藤澤弘幸 佐藤賢次 河野由美子

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	難波勝敏	教育総務課長	大島永太郎
学校教育課長	池田一成	保育未来課長	平松直美
ひとづくり推進課	佐藤秀志	金光分室長	中嶋利恵
寄島分室長	山本峯廣	学校給食センター所長	安原直子
教育総務課	平井恵美子	(事務局)	

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について

浅口市教育委員会会議規則第29条により高戸委員を指名。

(了承)

日程2 会期について

本日9月13日の1日会期。

(承認)

日程3 議案第35号 浅口市保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の一部を改正する告示について

(保育未来課長)

資料により説明。

この要綱は保育所等の利用調整を適切に行うため、保育の必要性について点数化し、点数の高い者から優先的に利用できるよう基準を定めている。また、世帯の状況、児童の状況、就労の状況等に応じて調整点数を設け、合わせて決定をしている。現在市内の保育所等で働く保育士は就労時間が月48時間以上120時間未満が10点、120時間以上が15点としている。今回の改正では、保育士の就労時間を月48時間以上120時間未満の区分を2つに分け、月48時間以上80時間未満を5点、月80時間以上120時間未満を10点としている。就労時間数で調整点を区別することで、長時間保育に対応できる保育士の確保を図り、待機児童の解消に繋がればと考えている。また、小規模保育事業所の卒園時にどこの園にも入所できない事態を防ぐため、連携施設への入所希望に7点、連携施設以外への入所希望に4点の調整点を設けていたが、今回の改正では、小規模保育事業所の卒園時において連携施設を第1希望とした場合は、更に10点の加点を新たに設定することで連携施設への円滑な入所を図る。連携施設以外では3歳児からの入所を希望した場合、2歳児からの進級児童で既に空きがなく、入所できない事態が予測される。市立六条院こども園は、入所可能年齢が3歳児からであるため、2歳児からの進級児童がおらず、定員超過で受け入れ不可となることは考えられにくくなっている。小規模保育事業所等の卒園児の受け入れ可能施設として、市立六条院こども園の入所を希望した場合、10点の加点を新たに設定し、卒園児の入所の優先度を高め、円滑な入所を図ることを目的とした改正である。

(教育長)

小規模保育事業所は市内にどこがあるか。

(保育未来課長)

小規模保育事業所は、金光学園乳児保育園と浅口はちまん小規模保育園がある。

(教育委員)

この基準について入所希望者はどうやって知ることができるのか。

(保育未来課長)

希望する方にお渡しする入園案内に掲載しており、市のホームページにも掲載する。

(教育委員)

改正案では、区分17番に六条院こども園という固有名詞の表記となるがなぜか。

(保育未来課長)

その他は、3歳未満の子どもを受け入れている施設であるので、0歳児から2歳児まで小規模保育事業所に行った園児が3歳児からの入所について、受け入れが可能な六条院こども園を入れている。

(教育委員)

3歳児から幼稚園は入れる。

(保育未来課長)

これは保育の関係であるため、幼稚園の記載は特にない。新年度に向けて若干名ではあるが、小規模保育事業所からの入所が難しい可能性がある。受け入れ先があれば、保護者も小規模保育事業所を選択しやすくなるのではと考えている。

(教育委員)

0歳から保育所等に入る場合、こういったパターンがあるのか示して欲しい。

(保育未来課長)

小規模保育事業所は0歳児から2歳児の受け入れとなるので、3歳児以降は別の施設に入るようになる。小規模保育事業所は連携施設を指定している。金光学園乳児保育園は金光学園こども園、浅口はちまん小規模保育園は浅口はちまん認定こども園が連携施設である。それ以外は連携施設ではない。

(教育委員)

2歳児まで小規模保育事業所に通い、3歳児から連携施設以外を希望することもあるということか。

(保育未来課長)

0歳から受け入れている園は3歳児から希望する子どもを調整することが難しい場合がある。可能な園としては3歳児から受け入れをする六条院こども園である。

(教育委員)

他の表記を考えて欲しい。3歳児からというのであれば、幼稚園も現在受け入れが可能となっている。保育の場合は六条院こども園のみとなるが、六条院こども園の固有名詞を入れるべきではないと思うがどうか。説明の上で幼稚園があるというのは

当たり前であるが、六条院こども園の固有名詞が入ると、幼稚園への選択肢が狭まるのではないか。

(教育委員)

どういう表記ができるのか。表記の仕方により六条院こども園以外該当しないが、固有名詞を入れずに表記することを考えて欲しい。

(教育次長)

小規模保育事業所に通う園児が連携施設に入れず、入れる園がないという状況を防ぐための改正である。固有名詞がということなので、例えばであるが、3歳児以上を受け入れているこども園というように具体的名称ではなく置き換えていくことはできるのではないか。

(教育委員)

基準要綱なので、そこに固有名詞が入るのが違和感がある。これを見て運用することになる。いろんな状況を全部反映できるようにするために抽象的な表記を使ってもよいのではないか。

(教育委員)

3歳児以上の子を保育するこども園等の表記をしておくと、保護者も確認をするのではと思う。

(教育委員)

連携施設以外の入園を希望する場合は4点だが、あえてさらに10点を加算する、この扱いはどう違うのか。

(保育未来課長)

市内にある2つの小規模保育事業所には連携施設があるが、市外の小規模保育事業所に通われてる方は浅口市内には連携施設がないので連携施設以外を希望する場合4点としている。

(保育未来課長)

ご指摘があった六条院こども園という固有名詞は使わず、3歳児以上から受け入れをしているこども園と表記することとする、いかがか。

(全委員)

了承する。

(教育委員)

相談に来られた保護者に、説明するしないがないよう、平等に説明してもらうように指導すること。保育を希望する保護者に色んな選択肢があることを説明し、幼稚園があることも説明し

て頂きたい。

(教育長)

その辺りも考慮しながら10月1日から対応していく。

(承認)

日程4 諸般の報告について

(教育次長)

9月市議会に上程している補正予算の主なものについて、議決はまだなされていないが、内容について説明する。続いて、一般質問の教育委員会関係所管の内容について報告する。

(教育長)

総務文教委員会で質問の出たPTAのことの説明をお願いします。

(教育次長)

PTA県連合会が今年度末で解散するという報道が9月上旬にあった。市の状況としては、浅口市と里庄町との連合会があり、幼稚園、こども園、小中高の組織となっている。県の解散を受け、浅口支部のPTA連合会も解散をすることが決定した。具体的な影響を調査したが、研修会や情報提供は県の教育委員会が代わって対応し、ほとんど影響がないということであった。各学校にあるPTA組織は今後も引き続き、活動を続けていく。

(教育総務課長)

教育委員視察について、10月11日金曜日美咲町立旭学園へ施設一体型義務教育学校に関しての視察を行う。

10月23日六条院こども園で教育研究会を公開し、公開保育を行う。

(学校教育課長)

今年度初めて、8月25日にオールキラリアワードの表彰式を行った。市内全ての4年生に賞を送ると取り組みを行った。またいろいろご意見いただきながら、来年度に向けて修正する点さらに発展させていくべき点等を伺いながら、よりよいものにしていきたいと思っている。

9月4、5日に長崎県から鴨方東小学校へ視察があった。学校運営協議会の取り組みを勉強したいということで、総勢34名の方が来られた。鴨方東小学校の学級の参観、学校運営協議会の方との協議を行った。

寄島学園開校に向けて紹介をするためのパンフレットの最終校正段階に入っている。来月には地域への配布を考えている。市内の小中学校の運動会の開催のお知らせを配付している。

(教育委員)

オールキラリアワードの出席率が気になる。

(学校教育課長)

そこは反省点だと思っている。夏休みの最後の2学期に向かう前に、さらに頑張ろうというコンセプトを考えていたが、子どもによってはスポーツの試合があったり、夏休み最後の休みということで用事があったりという話も聞いている。時期については検討する必要があると思っている。また、より早いアナウンスは本当に大事だと思っているので、そうなるようにしていきたい。

(保育未来課長)

寄島地区でセアカコケグモが発生した。4日に寄島小学校、12日に寄島こども園で見つかっている。それぞれの施設を点検し、駆除を行っている。環境省外来生物対策室のチラシを添付し園児、児童、生徒たちに十分注意することを呼びかけている。

(教育長)

教育委員会が所管している施設等についての呼びかけをしている。

(寄島分室長)

寄島地区の所管施設にはチラシ張るなど注意喚起をしている。

(ひとづくり推進課)

8月17、18日に鴨方プラザにおいてドローンフェスティバルを開催した。日曜日には浅口マルシェと合同開催し、お客さんも大勢来てくれて約1000人の来場者があり盛大に開催ができた。

9月14日、令和6年度の浅口市文化財講座として緑のアクセシソウを楽しむ会を開催する。

9月15日日曜日午後から浅口市ドローンレースグラフを公開する。

月曜日17時から町家公園において観月茶会を開催する。

9月28日の夕方16時15分から博物館プラネタリウム室において、星空ヨガを開催する。プラネタリウム室の有効活

用及び多目的活用としてヨガ教室を開催する。主催は産業振興課で行うが、定員を上回る申し込みがあると聞いている。

9月29日の日曜日にふるさとかもがたプラザにおいて市民体育祭鴨方大会が開催される。先ほど教育次長から議会答弁等の中でも説明がありましたが、本年度の鴨方大会においては14地区中5地区が不参加ということで、9地区での開催をする。反省会では来年度以降に向けて検討していきたいと思っている。

今月末9月29日日曜日、天草公園の中で今噴水が上がっているジャブジャブ池が今後月末で終了となっている。

鴨方 B&G プールに関しても9月29日で終了となる。

(金光分室長)

金光公民館からのお知らせ、9月21日16時から金光町文化協会金光町茶道連盟による寒月茶会が開催される。

文化祭について、浅口市総合文化祭は鴨方地区、寄島地区は10月19日20日第3週に行う。金光地区は10月26日、27日第4週に開催を予定しており、現在文化協会が作品の募集を行い準備を進めている。

浅口市立図書館から9月の事業についてお知らせ。

(寄島分室長)

今年度の寄島もやいの体育祭は10月13日に開催する。寄島小学校のグラウンドで行う。

浅口市マラソン大会について、警察からの指摘があり、コースを全面的に見直している。安全対策を第1に考えたコースになっており、警備員を配置するなど対応する。10キロコースは、参加費を3,000円から4,000円に見直している。参加申し込みは、9月1日から29日まで今募集をしている。今のところ160名の申し込みをいただいている。

寄島のB&G海洋センタープールは9月15日日曜日までとなる。B&G海洋センタープールにB&G財団からの支援をいただき、コンテナの救護室を設置している。クーラーや救護用ベットを配置している。8月31日に配備式を行う予定だったが、台風の関係で中止している。

(学校給食センター所長)

小中学校は8月26日から幼稚園・こども園は9月3日から給食を開始している。9月に入ってから栄養教諭や管理栄養

養士が各学校へ訪問し、給食時の指導を始めている。2学期には給食の試食会の相談があり、小学校は1年生の保護者に来ていただいて試食をしてもらう予定である。

日程5 その他について
特になし。

次回教育委員会議

定例会 令和6年10月16日（水）9時00分から

令和 6 年 10 月 16 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中野留美

委 員 高戸崇

作成職員 平井恵美子